

白山眺望と花の「風景街道」美しき湯けむりのまちづくりプロジェクト

(石川県加賀市・小松市)

景観づくりや環境保全をはじめとした観光振興に地域住民らが主役となって取り組むことにより、基幹産業である「観光産業」のテコ入れとともに、「誇りと生きがい」による住民自身の元気づくりを推進する。

路肩花壇づくり



養苗ポットによる
コミュニティビジネス



伝統的町並み



エリアツーリズム

平成21年度の主な取組

- ① 路傍花壇づくり活動の観光商品化や、山野草等の種を栽培した養苗ポットによるコミュニティビジネスモデル事業を実施。
- ② 観光コンシェルジュの育成を高度化し、観光コンシェルジュとめぐるエリアツーリズムを商品化。
- ③ 沿道公民館を「まちの案内所」と位置づけた活用や、周遊マップやHPIによる周遊観光を促進する情報発信事業の実施。

平成22年度以降の展開

植え込んだ球根を育成し、再度、路傍花壇作りへと循環する植栽システムの構築、山野草養苗ポットの販売を通じ里山保全費用の確保を図るコミュニティビジネスの構築、エリアツーリズムの商品化や日本風景街道の登録の取組み等を地域住民が推進し、観光客の増加と地域経済の活性化を図る。

過疎交通を公共交通でひとつにするプロジェクト（石川県珠洲市、能登町）

住民生活の足である「公共交通」(バス)の活性化の取組を隣接地域にも拡大し、地域の利便性を一層向上させることで、住民同士の交流や住民と来訪者との交流を促進し、住民の心をひとつにしてコミュニティ力と経済活力を高める。



高校生の通学環境向上のための乗合運行実験(バス)

公共交通と地域活性化を考える住民学習会



平成21年度の主な取組

- ① ボランティアでバスの運行を支援する仕組みを広域で展開するとともに、高校生の通学環境向上のための乗合運行実験や高速バスと接続するバス路線の実証運行を行う。
- ② 新たな広域交通体系と連携した、祭り・イベントPRと、着地型のふるさと再発見ツアーを企画・実施。
- ③ 公共交通と地域活性化を考える住民学習会を実施。

平成22年度以降の展開

住民の努力でバス路線の利便性維持・向上を実現するシステムの拡大を図り、公共施設の送迎環境向上をはじめとする生活交通の確保を図る。また、北陸新幹線金沢開業に向け、奥能登の広域交通体系の構築と観光ツアーの充実等を進め、交流人口の拡大を図る。

海外富裕層誘客推進事業(The Real Japan Ishikawa Project)

(石川県金沢市・加賀市・七尾市)

洗練された食文化、伝統工芸等の石川県の有する”本物の日本”を理解する海外富裕層をターゲットとして、海外著名人を招いた国際会議開催等のプロモーション活動の展開と、富裕層のニーズに合致した受入体制の構築と課題解決により誘客を戦略的に推進する。



ラグジュアリーライフスタイル
国際会議

訪日外国人の金沢文化体験

平成21年度の主な取組

- ① 引続き世界に向けた情報発信、地元関連業界への情報提供を図るとともに、新たに浮彫りとなった海外富裕層受入に関する課題の解決に向け、国際会議を開催。
- ② 海外富裕層受入体制強化のため、ビジネスとしての可能性等について普及・啓発活動を行う市場研究会を運営し、多岐にわたる賛同者の拡大と一層の意識啓発を図る。

平成22年度以降の展開

国際会議の定期的開催のための民間組織を設立し、会議自体をアイコンとすることによる情報発信の強化と、市場研究会での研鑽を通じた人材のスキルアップと総合受入体制の強化により、豊富な地域資源とリンクした海外富裕層誘客の増大による地域経済活性化を目指す。

魅力と活気あふれる「めがねのまち鯖江」元気再生事業（福井県鯖江市）

鯖江市の主要産業であり、世界最高の技術力を誇る「鯖江の眼鏡」の再生に向け、「つくるだけの産地」から「つくって売る産地」への転換と産業観光の推進により、地場産業再生と地域のにぎわい創出の相乗効果を目指す。



デザイナーとの商品開発と
団塊世代向け新商品



子どもたちを対象とした
「ものづくり体験」

平成21年度の主な取組

- ① 可処分所得の高い団塊世代をターゲットに、メディア等との連携によりオリジナルブランドの構築を図る。
- ② 小売店の販売員を対象とした「産地体験」の販売へのフィードバックや子どもを対象とした「製造から販売の一貫体験」の実施
- ③ 著名人ブログ等の人気サイトを活用した産地情報の発信と、「めがねスタイルブック」の刊行

平成22年度以降の展開

消費者のニーズを直接把握し反映させることによる自社ブランドの拡大、生産管理やマーケティング等の学習カリキュラムの検討による企業人材の育成、WEBサイトを通じた情報発信と、消費者と産地の双方向コミュニケーションの拡大、産業観光の充実等により、関係者が一丸となり「めがねのまち鯖江」を再生する。

「住んでよし、訪れてよし」観光客と住民が共存するむら『HAKUBA』（長野県・白馬村）

外国人観光客が急増している白馬村で、「はくば蕎麦と古民家」を活用した、観光客と住民の交流機会の創出や伝統文化に根ざした観光資源の魅力向上のほか、観光客の移動手段の確保、住民のコミュニケーション能力向上に取り組むことにより、ホスピタリティあふれる「観光客と住民が共存する町」を目指す。



古民家を利用した外国人向けそば打ち体験

外国人観光客向けの村内巡回バス



平成21年度の主な取組

- ① 古民家を住民と外国人観光客等との「食と文化の交流拠点」とし、各種体験、伝統文化や地場産品の紹介等を実施
- ② 外国人観光客向けシャトルバスの本格運行に向け、満足度・ニーズ調査を通じルートの見直し及び拡大を実施。
- ③ 住民の接遇向上に向けた講習、語学研修を開催

平成22年度以降の展開

外国人観光客の移動手段を定着化させるとともに、地域住民が主体となった日本の伝統的食・文化体験等の体験メニューを構築する。あわせて、住民のコミュニケーション能力の向上等を通じ、ホスピタリティレベルが高く外国人観光と住民が共存するむらを実現する。

霧ヶ峰“彩り草原空間”構築プロジェクト(長野県霧ヶ峰地域)

(長野県・諏訪市、茅野市、下諏訪町)

多様な主体の参画により生物多様性を保全再生し、100年後の世代に手渡す取組「自然再生」と、霧ヶ峰ならではの人と自然の関わりを実感するエコツーリズムを創出する取組「地域経済(観光)再生」を一体で行い、地域の再生を実現する。



草原再生のための霧ヶ峰の火入れ(着火用松明に灯油ではなくバイオマス燃料を使用)



閑散期におけるエコツアーの実施

平成21年度の主な取組

- ① 20年度の事業成果をもとにバイオマス実用化実験と環境への負荷を考慮したトイレの実用化調査を実施
- ② インタープリター養成講座、エコツーリズム講座の実施によるエコツアー担い手育成
- ③ 霧ヶ峰ポータルサイトの構築による情報発信と、リーフレットによる効果検証

平成22年度以降の展開

バイオマス活用や自然環境保全活動の発展的な展開を推進するために公園管理財団を設立するほか、環境配慮型トイレの整備やシャトルバス運行を通じ環境負担軽減を図る。また、エコツアーの担い手の継続育成や情報発信の充実等により観光再生の推進を図る。

「郡上 長良川源流域森と川の恵み 集落再生 実証事業」(岐阜県・郡上市)

地元産材や地域の自然、食文化等を地域資源として活用した自立的ビジネスモデルを確立するとともに、事業を担う人材を育成することにより、活力と誇りある地域への再生を目指す。



棚田を活かした都市農村交流

DECO(デリバリーエコ)ハウス事業

平成21年度の主な取組

- ① 地元産材を利用したコテージハウス(DECOハウス)事業モデルの確立。
- ② 棚田を活かして体験交流農園を開設し、市内小学生等を対象とした交流活動の実施とビジネス化に向けた人材の育成。
- ③ 長良川鉄道と、キジ料理等の食の魅力開発との連携を深めた着地型観光の試行。
- ④ 地域情報の収集・整理・発信。

平成22年度以降の展開

DECO(デリバリーエコ)ハウス販売事業の本格的展開や、棚田を活用した体験交流型農園の展開、名産品の開発・販売等の自立的で持続的な事業展開を図るとともに、事業間の相互連携を図り、相乗効果を創出しながら自立した地域の実現を目指す。

建設業の参入促進による林業改革モデルプロジェクト

(岐阜県・高山市、下呂市、飛騨市、白川村)

地域の林業と建設業の協働により、建設業の持つ技術、機械、労働力の一部を林業で活用し、地域の森林管理の担い手不足と建設業従事者の雇用機会確保の問題解決を図るとともに、飛騨地域の資源である木材生産の促進等により地域再生を図る。



林建協働のための研修



林建協働に関する意見交換会

平成21年度の主な取組

- ① 林業参入する建設業の共同出資組織設立と林業者との協働体制の構築。
- ② 森林整備事業量を把握の上で、5カ年程度の中期経営計画となる地域林業経営プランの策定・実践。
- ③ 低コスト・高効率な木材生産を行うためのコスト分析、技術者養成

平成22年度以降の展開

経営に必要な知識や、新たな技術の習得のための研修を恒常化し、林業・建設業協働の生産システムの高度化と拡大を通じ、「健全で豊かな森林づくり」と地域雇用の拡大、建設業・林業の元気回復による地域活性化の実現を図る。

こらっしえ稲取大作戦！ローカルエリアプロモーション事業のビジネスモデル確立 (静岡県東伊豆町)

宿泊客数が減少し続けている温泉観光地において、地域資源を活用したマーケティング・プロモーション事業のビジネスモデルの確立と、持続的な人材養成の仕組みづくりを行う。これにより、元気で自立的な観光地を目指す。



着地型旅行商品の造成



カーネーションの商品化



地産品の販売促進

平成21年度の主な取組

- ①地産品(粉かんとん、カーネーションなど)の商品化と域外への販路開拓を行い、地域マーケティング・プロモーションの高度化を図る。
- ②教育旅行、インバウンド旅行の誘致を図るため、旅行会社との提携を進める。
- ③前年度に作成した「稲取ドリル」を活用し、地域マーケティング・プロモーションを持続的に行うための人材を育成する。

平成22年度以降の展開

ローカルエリアプロモーションの事業体としての旅行業のビジネス展開や、コンソーシアムを設立しての地産品の大都市・海外への販路開拓を行う。域内では、人材養成が継続的に行われていくための仕組みを構築する。

空港、高速道路の整備を生かした奥大井観光振興プロジェクト

(静岡県川根本町、島田市の一部(旧川根町、旧金谷町))

富士山静岡空港の開港を受け、東アジア(韓国・中国)等からの誘客に取り組むとともに、第二東名高速道路の整備で期待される首都圏等からの誘客を図るため、地域産品の川根茶や茶工場群等を活用し、地域特性を活かした観光による地域再生を目指す。



地域まるごと博物郷

川根茶



平成21年度の主な取組

- ① 中国や韓国等からの旅行者に向けて、地域産品である川根茶を活用した、観光商品の開発。
- ② 地域の古民家や茶工場群等を「地域まるごと博物郷」と位置づけ、長期的、安定的に運営するための運営組織づくりと、まちかど博物館35館の開館実証実験を実施。

平成22年度以降の展開

韓国等の旅行会社等との協働による観光商品化やキャンペーン展開等、富士山静岡空港を經由して来訪する東アジアからの誘客の取組みを促進するとともに、地域の古民家や茶工場群を「地域まるごと博物郷」と位置づけ、空港・高速道路を活用した観光による地域経済の活性化を進める。

やま まち
「山村と都市の協働プロジェクト」 (愛知県東栄町・名古屋市)

山村に対する都市住民の理解を高めることで、都市住民の山村への定住による地域再生戦力の確保を図るとともに、エコポイントを活用した山村農産物の直接販売を進めることで、都市での山村農産物の購入拡大による山村の地域活性化を目指す。



農業体験



山村農産物の直接販売

平成21年度の主な取組

- ①食と農を結ぶ体験講座開催や農地管理ボランティア組織を編成することで、都市住民への食農教育と山村での耕作放棄地再生へつなげる。
- ②定住者のライフスタイルに対応したサポート体制の構築を行い、都市から山村への定住を促す。
- ③エコポイントを活用した山村農産物の直接販売を進めることで、都市での健康・環境配慮行動による山村農産物の購入拡大を図る。

平成22年度以降の展開

都市住民を対象とした体験講座を常設化し、体験交流→ボランティア参加→定住への誘導を行う。そのために、講座運営の母体として、山村NPO+農家+都市NPOの協働体の設立する。これにより、農業体験講座と定住支援、体験宿泊の事業化を図る。

長寿医療の先進地を目指す地域在宅医療ネットワーク構築事業 (愛知県大府市・東浦町)

大都市近郊のベッタウンで見込まれる急速な高齢化とそれに伴う医療需要者の急激な増加に対し、在宅患者・高齢者が安心して生活できる地域協働社会を構築することで、地域活力の維持・増進を図る。



在宅医療メイツの養成



生きがい体験交流会の実施



テレビ電話による
実証実験

平成21年度の主な取組

- ① 地域医療を支える「在宅医療メイツ」の養成。
- ② 医療・介護機関と在宅患者・家族をつなぐコミュニケーションシステムの実証実験。
- ③ 在宅医療を支援する社会活動プログラムとして地域協働活動・ワークショップの実施。
- ④ 在宅医療を促進するプラットフォームの検討。

平成22年度以降の展開

国立長寿医療センターを中心として、行政、医療機関、介護・福祉機関、企業などで構成された「いきいき在宅メイツ協議会(仮称)」を設立する。その協議会を事業展開基盤として、在宅医療の促進、高齢者への生活支援などを行うことで、地域活力の維持・増進を図る。

～伊勢志摩地域の歴史・文化資源を紡ぐ～

国際観光・海洋文化都市鳥羽の創造にむけて(海の国再生事業) (三重県鳥羽市)

景気の低迷や観光資源の魅力低下などで観光客数が減少し賑わいが失われている観光地において、旅行商品の開発や地域の歴史・文化の掘り起こしを通じた観光資源づくりを行うことで、観光客数の増加と中心商店街の活性化を図る。



海上観光ルート商品の開発



海鮮市場の開催



行灯による夜の演出

平成21年度の主な取組

- ① 地域住民と観光客が交流できる空間や旅館と商店街の連携により、昼夜それぞれの中心市街地での魅力アップにつながる仕掛けづくりにより、中心市街地の賑わいを作り出す。
- ② 海の歴史や海上からの景観を楽しめる新たな海上観光ルート商品の開発。
- ③ 郷土史会を立ち上げ、久鬼水軍に関するフォーラムやシンポジウム、メディアを活用した情報発信を強化する。

平成22年度以降の展開

中心市街地の賑わいの発展検討や旅行代理店と連携した旅行商品の普及促進、歴史・文化(久鬼水軍)を軸とする地域間交流の促進やTVドラマ化に向けたPR活動を推進する。

南三重地域活性化プロジェクト

(三重県尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町)

南三重8市町の地域が広域連携しながら、熊野古道の文化的価値や地域資源を活用した「産業振興」「観光振興」「地域づくり」に取組み、一体となって魅力ある地域づくりを進めるとともに、インターンシップ等を通じ若者の活力を取り入れ南三重の元気再生を目指す。



物産品の販路拡大



起業合宿の開催



若者との意見交流

平成21年度の主な取組

- ① 長期インターンシップによる交流システムの構築と若者の視点からの地域戦略づくり。
- ② 高規格道路、観光施設、宿泊施設、歴史・文化施設等をリンクさせたツアーコースの開発。
- ③ アンテナショップ設営と奥伊勢パーキングエリアを活用による南三重物産販路拡大。
- ④ 「歴史文化×観光」をテーマとした教育プログラム開発による交流。

平成22年度以降の展開

平成25年度(予定)の中京圏と直結する道路ネットワーク概成に向け、南三重地域の統一イメージ発信とマイカー客への対応を進めるほか、地域産品と観光商品の開発、インターンシップや大学との連携による若者の活用を進める。